



認定NPO法人環境ネットワーク埼玉通信



E·N·S通信

No.37



埼玉県地球温暖化防止活動推進センター

Saitama Center for Climate Change Actions

Index

表紙寄稿：大和広明氏

(埼玉県環境科学国際センター)

令和6年度通常総会 & 20周年記念式典

家庭や中小事業所の省エネ支援

彩の国環境ネットワークプラザリニューアル

埼玉県地球温暖化防止活動推進員について

事務局からのお知らせ



暑さ指数の情報提供で熱中症にかかる人を減らすことをめざす

埼玉県環境科学国際センター 温暖化対策担当 大和 広明

地球温暖化が進行する中、埼玉県では夏の気温が年々上昇し、熱中症のリスクが増加しています。このため、地球温暖化を防ぐための緩和策だけでなく、その影響を軽減するための適応策も重要となっています。埼玉県は環境科学国際センター内に「埼玉県気候変動適応センター」を設置し、適応策を推進しています。その一環として、熱中症対策の普及啓発活動を行っています。

熱中症対策の指針の一つとして「暑さ指数」という指標があります。これは人体と外気との熱のやり取りに着目した指標です。特に屋外での労働や運動環境において有効とされており、環境省から提供されています。しかし、埼玉県内では8か所でしか提供されておらず、更新頻度も1時間ごとであるため、地域差を十分に反映できていないのが現状です。

そこで、埼玉県ではより詳細な情報提供を目指して、2024年夏季に県内の30か所に環境科学国際センターが開発したインターネットにつながる暑さ指数計を設置しました。これにより、約10分ごとに最新の暑さ指数が埼玉県気候変動適応センターのHPで公開しています。県民は自分の住んでいる地域の具体的な暑さ指数を簡単に確認でき、適切な熱中症対策を取ることができます。特に屋外活動中の熱中症のリスクを減少させることができればと期待しています。





環境ネットワーク埼玉は20周年を迎えました

当会は、本年度で20周年を迎えました。これもひとえに当会を支えていただいている多くの皆様のお陰であり、心より感謝申し上げます。

さて、当会は二十数年前、本県の地球温暖化防止活動推進センターをどうすべきか官民双方で検討がなされるなか、それが呼応して2005年1月に設立され、4月22日に県から指定されて今日に至っています。この間、気候変動はますます現実化、深刻化し、削減の枠組みや目標は強化されつつも、人々の行動変容や温室効果ガスの削減などは追いついていない状況にあります。決定的な10年と言われる2030年に向け、大海の一滴に過ぎない私たちの活動ではありますが、さらにアクセルを踏み込んでいきたいと考えております。皆様の引き続きのご支援、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

代表理事 星野 弘志



令和6年度通常総会を開催しました。

6月15日(土) 埼玉会館にて通常総会を開催しました。議場では、第1号議案：令和5年度事業報告案、第2号議案：令和5年度活動計算案、第3号議案：令和6年度事業計画案、第4号議案：令和6年度活動予算案、第5号議案：役員の改選案、のすべての議案が満場一致で承認可決されました。今年度は事業数も増え、活動がますます活発化する予定です。特に、埼玉県「家庭における省エネ・再エネ活用設備導入支援事業」では、家庭への蓄電池とエネファームの導入に際し、県補助金支援の窓口業務を行います。他にも新規事業として、埼玉県の家庭の省エネ実践講座業務やカーボンニュートラル推進分科会運営業務等の事務局を担います。

同会場にて20周年を記念し、細やかな記念式典を催しました。

記念式典では、来賓として、埼玉県環境部長石井貴司様、さいたま市環境局長瀧口智様にお越しいただきご挨拶を頂きました。基調講演では、「市民が考えるゼロカーボンで住みよい地域」というテーマで、国立環境研究所社会システム領域地域計画研究室室長の松橋啓介氏に講話をいただきました。

「今後日本社会は、温暖化や気候変動によるリスクが高まり生活コストが上がり、さらに地域では少子高齢化や人口減少等も合わさって課題が山積する。市民は脱炭素社会に向かい、ライフスタイルを変えると共に社会に働きかけることも重要である。」そこで、つくば市で行われました“気候市民会議”の事例を詳細に紹介いただき



ました。市民参加型の政策提言の意義や効果、行政との対応について等、今後の地域脱炭素社会への方向性について大変参考となるお話でした。

その後、現在当会は正会員76名・団体、賛助会員40名・団体に参加いただき構成されていますが、その中でも、設立当初から今年度まで正会員として当会を支えていただいた21名・団体の方に感謝を込めて、感謝状を贈呈させていただきました。最後は、懇親会も開催し盛大に20周年を祝うことができました。





中小事業所向け省エネ支援を行います

今年度も中小事業者向けの省エネ診断や診断後の伴走支援を実施します。国が支援する「省エネクイック診断」や「省エネお助け隊」の事務局、埼玉県が実施する「省エネナビゲーター事業」における省エネ診断の事務局を担います。

特に、省エネ診断を受診後に具体的な省エネ支援へのアドバイスを希望される事業所様には、省エネお助け隊で対応することができます。

省エネナビゲーターによる診断は無料となっていますが、他は一部有料となります。

省エネや脱炭素への取組に対して中小事業所も社会的に迫られている中で、ぜひこの制度を利用し、まずは省エネ診断を受診してみたいかがでしょうか。

省エネによってエネルギー効率が上がることで、CO₂削減や光熱費の削減につながります。今年度は、省エネを啓発するパンフレットも作成しましたのでご活用ください。



家庭の省エネ相談会を開催します

今年度も埼玉県家庭の省エネ相談会を開催します。家庭での身近な省エネは、家族の参加が得られない等つい面倒になりがちです。そんな身近な省エネの取組について、省エネ相談員がアドバイスをを行います。光熱費が高騰している今、省エネに取り組むことで光熱費の低減やCO₂削減により温暖化対策に貢献することができます。県内15か所の地域のイベント会場等で開催することになっています。是非、お近くのイベント会場にお立ち寄りください。

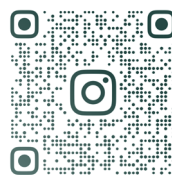


年 月 日	イベント名	場 所
2024年5月19日	くまがやエコライフフェア2024	八木橋百貨店
2024年7月20日	さいたま打ち水大作戦	コクーンシティ
2024年8月24日	白岡まつり	白岡市役所
2024年9月22日・23日	SAITAMA 環境フェア&こどもエコフェスティバル	イオン上尾
2024年10月5日・6日	エコウィーク	イオンレイクタウン
2024年10月26日・27日	所沢市民フェスティバル	所沢航空記念公園
2024年11月3日	とだ環境フェア2024	上戸田地域交流センターあいパル
2024年11月9日	商品展示会(パルシステム)	さいたまスーパーアリーナ
2024年11月14日	埼玉県庁オープンデー	埼玉県庁
2024年11月23日	そうか環境とくらしフェア	アコスホール
2024年12月8日	浦和レッズホームゲーム 県政PRブース	埼玉スタジアム



“彩の国環境ネットワークプラザ”をリニューアルしました！

当団体のホームページ上に20年来掲載してきました「彩の国環境ネットワークプラザ」は、今年の3月にリニューアルを完了しました。「彩の国環境ネットワークプラザ」は埼玉県の温暖化対策に関する情報を発信しているウェブサイトで、当団体が管理しています。エコライフDAY & WEEKや温暖化に関する情報、さらに県内環境団体の紹介やイベント予定、温暖化に関する子ども向け学習コーナー、家庭や企業の省エネの取組方法等、多くの役立つ情報をお届けしています。今年の7月から8月にかけては、Xやインスタ等のSNSを活用した「夏をエコライフで乗り切ろうプレゼントキャンペーン」を実施しました。600件近くのエントリーの中から30名の方に、1,000円相当の暑さ対策グッズをプレゼントしました。これからも県内の温暖化対策に関する情報を随時発信していきます。併せてキャンペーンも実施していきますので、公式SNSをフォローしてチェックしてください。



彩の国環境ネットワークプラザを、Xやインスタでフォローしてください。



「埼玉打ち水の環」を終了しました

今年の夏は、観測史上一番暑かった夏と気象庁は発表していましたが、本当に猛暑が続く毎日でした。そのような暑い中、恒例の“埼玉打ち水の環”を、今年も7月1日から8月31日まで実施しました。その結果、県内18カ所で624人に参加していただきました。今年度も“SNSで発信してね”とお声かけをし、インスタに投稿や専用フォームにアップロードしてもらいました。各打ち水の様子はインスタや当団体のHPから見るができます。

また、7月20日は、猛暑の中さいたま市コクーン広場で開催されました「さいたま打ち水大作戦」に出展し、省エネ相談会を実施しました。今年度の打ち水大作戦は、出展者数も増えるなど盛況でしたが、あまりの暑さに打ち水タイムを早める等、気候変動の影響が身近に迫っていることを痛感しました。





新規の埼玉県地球温暖化防止活動推進員(推進員)が委嘱されました

今年度は、埼玉県知事から埼玉県地球温暖化防止活動推進員が新たに37名委嘱されました。継続の推進員と合わせると、現在154名が県内各所で温暖化防止の活動に取り組んでいます。

5月26日(日)、さいたま市の会場で第1回目の推進員研修を行いました。

埼玉県の施策や埼玉県地球温暖化防止活動推進センターとの連携や支援等を紹介した後に、“今年度の活動計画を作ってみよう”というテーマで、ワークショップを行いました。新規の推進員は継続の推進員と意見交換することで活動のイメージをつかむことができ、役割が明確化できたようでした。今後の活動に期待したいと思います。



インターンシップを受け入れました！

今年も夏に、インターンシップの女子大学生2名を受け入れました。イベントを経験することで環境を学びコミュニケーション能力を得たいという目的で、主にイベント会場での呼びかけや対応の仕方を体験してもらいました。自ら積極的に声をかけるのが難しいようでしたが、人と話す楽しさは体験できたようでした。この経験を活かし社会で活躍して欲しいと思います。



埼玉県地球温暖化防止活動推進員のご紹介

今回は、シェフをされている上野 剛さんをご紹介します。上野さんは、本業の料理をとおして、地球環境への意識向上と私たちの健康への気づきをサポートしています。具体的には、環境負荷の少ない食材選び、リサイクルなどはもちろんのこと、人とのつながりの中で地域活性化と生産者支援にも取り組んでいます。食を通じて環境への意識改革ができるよう、お客様一人ひとりとの会話や向き合う時間も大切にされています。



最近では地域の高校生と、食から環境課題への解決を実現しようと活動されています。高校生がそれぞれチームを編成し、環境課題へ向けた商品開発、マーケティングや販売までをとおして、社会の流通に合わせてどのように消費活動に対して変化を起こせるか探求学習を一緒に行っています。上野さんは、持続可能な社会や暮らしを目指し、今後も人とのつながりを大事に活動していきたいと話されています。



● 事務局からのお知らせ

「第6回SDGsエコフォーラムin埼玉」を開催します

日 時 令和6年12月7日(土) 10:00 ~ 16:30
会 場 獨協大学(草加市学園町1番1号) オンラインも併用
主 催 第6回 SDGs エコフォーラム in 埼玉実行委員会
共 催 獨協大学環境共生研究所
埼玉県地球温暖化防止活動推進センター、埼玉グリーン購入ネットワーク
後 援 埼玉県、草加市
参加費 無料
プログラム 午前 基調講演 獨協大学前沢浩子学長、高校生 SDGs スピーチ、他
午後 6つの分科会に分かれて学習会や意見交換会を行います。
※詳細は、<https://www.kannet-sai.org/about/activities/2024/1207.html>

R6 埼玉県家庭における 省エネ・再エネ活用設備導入支援

埼玉県では家庭部門の脱炭素化を促進するため、自らが居住する既存住宅に新たに省エネ・再エネ活用設備を導入する者に対し、予算の範囲内において補助金を交付しています。特に、蓄電池とエネファーム(家庭用燃料電池)は、当会が申請窓口となっています。詳しくは、<https://kannet-sai.org/hojokin/> をご参照ください。



表紙の説明

「首都圏外郭放水路」

首都圏で水害を軽減することを目的とした治水施設です。埼玉県春日部市の上金崎地から小湊にかけての延長約6.3km、国道16号直下約50m地点に設けられた世界最大級の地下放水路となっています。この放水路の完成によって、周辺地域で浸水する家屋の戸数や面積は大幅に減り、流域の洪水被害を大きく軽減しました。特に放水路の調圧水槽を指して「**地下神殿**」と呼ばれ見学することができますが、天候によっては中止になる場合もあります。



● 賛助会員・寄付募集

認定NPO法人である当団体へのご寄付及び賛助会費は、税制優遇措置の対象となっています。所得税、法人税、相続税、一部の自治体の住民税において、それぞれ定められた条件を満たすことで優遇対象となります。詳しくは、ホームページをご覧ください。引き続き、皆様のご支援ご協力をお待ちしています。

編集・発行

発行日 令和6年9月30日
埼玉県地球温暖化防止活動推進センター／認定特定非営利活動法人環境ネットワーク埼玉
〒330-0074 さいたま市浦和区北浦和5-6-5埼玉県浦和合同庁舎3階
TEL: 048-749-1217 FAX: 048-749-1218
<https://kannet-sai.org/>
閉館日 土・日・祝日、12/29~1/3 開館時間 9:00~17:00

情報やお知らせ等、是非お寄せください

